

もくじ

えび人 vol.105	2	文化会館	10
今号の表紙	3	相談	11
「あつぎ鮎まつり大花火大会」に伴う交通規制	4	図書館	12
		子育て・HUGHUG赤ちゃん	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期期間 時時間 場場所 対対象 定定員
 内内容 講講師 費費用 持持ち物 他その他 任任期
 条条件 主主催 Eメール ホームページ 問問合わせ
 申申し込み 予予約制 祝祝祝日・振替休日を除く 休休み

高齢者対象の教室など 健康えびな えびな健康マイレージ対象

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます

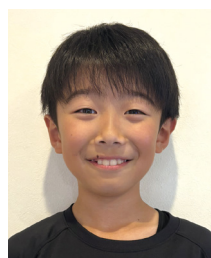
市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。
 ご協力ありがとうございました。

題 字

えびな



バスケットボールが大好きです。
 海老名小学校 千草圭翔さん(10歳)

写 真

タイトル：秋空に向かって
 撮影場所：目久尻川沿いの並木道
 撮 影 者：上今泉在住
 飯塚友康さん



(写真上) かかしまつりのオリジナルTシャツは、地域の一体感を高めるアイテム

(写真中) 自慢のお米を収穫。趣味のツーリングと両立できないことが悩ましい

(写真下) 消防団団長1年目。市の安全・安心を願いながら活動している



海老名の風物詩を 未来へつなぐ

30年の歴史に幕を閉じた「中新田かかしまつり」の運営を引き継いで5年。「反響が大きく、継続を希望する声がたくさん届く。最高にうれしくて、どんどん意欲が湧いてくる」と笑います。「何も言わなくても地域のみんなが自ら動いてサポートしてくれる。この人たちのためにも頑張らなくちゃと思うし、かかしまつりが地域に深く根付いているのを実感できてうれしいです」

「かかしが並ぶ田園風景の記憶を子どもたちにつなぎたい。なくしちゃいけない」という思いは、元々前になるタイプではなかった飯島さんの背中を押しました。「小学生の頃にかかし作りを体験した先生が中学校にいたので、最近では中学生も手伝ってくれています。まつりを通じて幅広い世代が交流し、会話ができる関係性が築かれるのも、地域にとってはすごくいいことですよね」

「できることなら永続を」と願う飯島さん。地域の風物詩とともに、そこで生まれる人の輪も未来へつなぎます。

今月のえび人

いいじまやすとし
 飯島康利さん
 (中新田在住・63歳)

中新田かかしまつり保存会会長。海老名市消防団団長。米やイチジク、野菜を生産する農業がなりわい。「みんな仲良く」がモットー。

編集雑記

「中新田かかしまつり」が始まった頃、学生だった私は海老名駅から本厚木駅に向かう小田急線の車内からかかしを見るのがとても楽しみでした。かかしの中にはその年の世相を取り入れたものもあり、毎年見応えがあります。まつりが始まると、ことしの出来事を振り返りながら秋の訪れを感じます。(ふ)